

## 令和3年度第2回矢巾町立学校運営協議会会議録

- 1 日 時 令和4年3月24日（木）午後6時30分～午後7時26分
- 2 場 所 矢巾町公民館 大研修室
- 3 出席者  
協議会委員 （欠席者） 鏑洋高、佐々木久美子  
事務局員等 （欠席者） 島香実
- 4 内 容

### ○ 田中館学校教育課長

ただ今から令和3年度第2回矢巾町立学校運営協議会を開催いたします。  
はじめに、矢巾町教育委員会 教育長 和田 修からご挨拶を申し上げます。

### ○ 和田教育長

年度末のお忙しい時期に、このようにお集まりいただき、本当にありがとうございます。改めて、このコミュニティスクールの立ち上げについて、私は、自分なりの思いがあって立ち上げさせていただきました。色々な場面でお話しておりますが、矢巾町だからできるコミュニティスクール、そして、これからの矢巾町のために必要なコミュニティスクールというかたちを作っていきたいと思ってきました。矢巾町民全員が子どもたちにどのように関わり、何が今できるのかということと考えられるコミュニティスクールを作り上げていきたいという願いで作りました。コロナ禍で、なかなか思うようにできないところはありますが、各小中学校の部会で様々な取り組みをしていただいております。それを少しずつ前進させて、目標に近づけていきたいと願っています。これまでの取り組みに感謝を申し上げ、さらに、来年度についてもよろしく願いしたいと思います。本日はよろしく申し上げます。

### ○ 田中館学校教育課長

それでは、協議事項に移ります。協議事項の進行は規則に則り、女鹿会長に申し上げます。

### ○ 女鹿会長

今回の会議で一区切りとなりますが、皆さまよろしく申し上げます。それでは、さっそく3協議事項①各学校の令和4年度学校運営方針の承認についてに入ります。これについては、各学校の部会で熟議を交わし、承認をいただいていると思いますが、協議会全体で共有したいと思いますので、各校長先生からご説明をお願いします。

### ○ 徳田小学校 小川校長

資料3ページの学校経営計画（案）をご覧ください。本校は、今年度までの2年間、JRCの研究推進校として取り組んできました。JRCの行動目標を学校経営の柱とし、学校経営全体で取り組みました。自己肯定感が低い子どもたちでしたが、学校生活を向上させる様々な取り組みを通して自己有用感がかなり上がっていますので、成果を上げたかと捉えています。来年度、JRCの研究推進校は外れますが、基本的路線はそのままに、培ったものを活かしてさらに発展させるという考えおります。「自分の未来を想像すること、夢を持つこと、共に生きることか

ら学びあう視点を持つこと」を、子どもたちには常々伝えています。学校経営計画（案）の「1 経営の基本方針」にも活かしていきます。未来の担い手として、夢を持たせ、それに向かって自己努力を促していくことを経営の基本方針の大事な部分とし、自分たちの力で学校を良くしていく子どもたちを育てようというのが大きな狙いです。「2 学校教育目標」は変わりありません。続いて、「3 めざす子ども像」として、3点あります。”思いやりのある子”とは、共に生きるためにお互いを大切にしあう子ということで、何故大切にしようのかという理由を付記しました。”かしこい子”は学びの形態を重視し、学び合うということを重視しました。”たくましい子”は、新型コロナウイルス感染症の影響でゲームをする子が増え、体力面だけでなく、脳への影響も心配されますので、心身が健康であることを強調しています。「4 めざす学校像」は、子どもたちが成長を実感できる学校であること、また、教職員は子どもの成長を喜び合うこと、保護者や地域と協働して子どもを育てることを学校運営協議会の活動とリンクさせて進めていきたいと考えています。また、「5 重点指導事項」には、SDG sという言葉をあえて入れました。今までやってきたことをSDG sの中に位置づけて意識的にやっていこうという狙いです。また、矢巾型コミュニティスクールの実践として、徳田小学校コミュニティスクール推進委員会を立ち上げましたので、委員の皆さまの力を借りながらコミュニティスクールを進めていきます。また、4ページのまなびフェストですが、これまでの児童・家庭・学校の3つの項目に、地域の項目を加えました。地域の人たちを巻き込んで、課題意識を共有しながら、子どもたちを見守り、育てていきたいと考えます。地域への周知については検討が必要ですが、全戸配布等から進めていこうかと思っています。

#### ○ 煙山小学校 阿部校長

5ページをご覧ください。本校は、情報化やグローバル化に対応できる子どもを育てたいと考えます。そこで、「1 学校教育目標」は「人間性豊かで、実践力のある子どもの育成」としました。これまで、重点項目は「徳・知・体」でしたが、徳を得るためにも知識がなければならぬと考え、「知・徳・体」として重点的に指導していきます。続いて6ページをご覧ください。「4 今年度の重点と具体的な取組」ですが、特にも、校内研究・現職研修の充実に力を入れます。本校の子どもたちは、自己肯定感が低いという課題がありますので、伸ばす指導をしていきたいと思えます。主題研究として、国語・特別活動を充実させます。特別活動等を通して、主体的な子どもを育てたいと考えます。また、生徒指導にも力を入れます。特にも、児童主体の活動の充実（縦割り活動、委員会、クラブ等、リーダー育成）に力を入れていきます。続いて7ページをご覧ください。特別支援教育にも力を入れていきます。個性豊かな子どもたちを活かしていきたいと考えます。また、清掃指導にも力を入れます。学校を大事にすることは、地域の学校という意識を育てることだと考えます。続いて8ページですが、各種連携を強化していきます。特にも、民生児童委員や放課後デイサービス、スクールソーシャルワーカーの力を借りながら、子どもたちの居場所を確保できるようにしたいと思えますし、地域の方々とも連携していきたいと考えています。

#### ○ 不動小学校 吉岡校長

10ページをご覧ください。本校では、子どもたちが未来を切り拓く力を育てたいと考えています。学校教育目標としては、色々なことを積み重ねて、子どもたちが元気に登校して笑顔で

下校していくという姿を、日常に見られるようにしていきたいと思っています。続いて 11 ページをご覧ください。「Ⅲ 本年度の経営の重点」の「1 確かな学力を育てる学習指導の充実」の「(1) ④学習・指導方法の改善と一貫性を持った形で学習評価の充実」とありますが、子どもたちの指導を充実させるためにも、学習評価等も先生方と研究していきたいと思っています。また、「(3) 特別支援教育の視点を取り入れた指導・支援の充実」を図ります。ユニバーサルデザインという言葉がありますが、全ての子どもたちに有効なものだと考えますので、教職員全員で研修等を続けていきたいと思っています。それから、「(6) ICT 教育の充実を図る」については、子どもたちにとって必要な能力、技能と考えていますので、これについても研修を進めていきたいと思っています。12 ページをご覧ください。「2 豊かな心を育てる教育の充実」ということで、一人一人が自己有用感を持てる学級経営のため、こちらも研修をしていきますし、全ての子どもたちが普段の生活の中で活躍できる場を作っていきます。「3 健康安全指導の充実」については、「(3) ②ゲーム・SNS について実態調査と情報モラル指導の推進」です。小学生でも、自分専用のスマートフォンをかなりの人数が持っていると思われます。使い方、健康面を含めて指導していきます。最後に、「Ⅳ 開かれた学校づくりと地域連携の推進」として、コミュニティスクールについても記載しています。地域全体を通して子どもたちを育てていきたいと考えています。

#### ○ 矢巾東小学校 深野校長

14 ページをご覧ください。「Ⅰ 学校教育目標」は、「かしこく(知) 心豊かで(徳) たくましい子(体)」となっており、目指す子ども像が何点か挙げられています。目指す子ども像に迫るために、学校でどんな取り組みをし、どんな子どもたちを目指し、保護者にはどんな協力をさせていただくかということ、知育部、徳育部、体育部で、まなびフェストを作成しています。続いて、「Ⅱ 経営の方針」の「1 経営の理念」として、例年、「進取・創造・連帯」を基本理念とし、自他ともに成長し、目標達成・問題解決に向かう学校とされていますので、それを継承していきます。また、「2 経営の方針」として2点挙げています。1つ目は、「東魂」を基本に、全教職員が知恵を出し合い、多角的な視点で児童の育成を図るとともに、学校全体の一体感を醸成し、全教職員、全児童が帰属意識を持てる充実感のある学校を目指します。「学校が楽しい」という子どもを増やすようにしていきたいと思っています。2つ目は、協働して教育活動を行い、学校・学年・学級経営をしていきたいと思っています。特に学級経営の推進が学校の安定につながると思いますので、学級経営を充実させていきたいと思っています。続いて、「3 経営の重点」として3点挙げています。「(1) 心が通い、安定性を高める学校経営」「(2) 組織体として機能する学校」「(3) 教育公務員としての使命感とコンプライアンスの堅持」ということで、非違行為0運動を展開していきます。15 ページをご覧ください。「4 指導の重点」として7点挙げていますが、特に、「(4) 特別支援教育の充実」については、特別支援学級だけでなく、特別な支援を必要としている児童が多くいますので、充実を図っていきます。

#### ○ 矢巾中学校 福士校長

16 ページをご覧ください。今年度初めの学校運営協議会でお話したのが、矢巾町内小中学校6校の中で、生徒の自己肯定感が一番低く、これをなんとかするというのが、学校経営方針の

柱になるということです。昨年度と比べ、今年度は、全国学調の児童生徒の質問紙調査結果で11ポイント向上しており、今やっていることに間違いはないということで、令和4年度についても学校経営方針は同様の方針を進めていくことになります。また、「2 学校教育目標」ですが、傾聴と共感的受容がベースになっています。続く17ページですが、子どもたちの自己肯定感が高まることによって、「7 令和4年度の重点事項」の全てが向上していくものと考えます。この重点事項の数値が、全て上がっていることが様々な調査で明らかになっていますので、来年度に向けてさらに向上していきたいと考えています。

○ 矢巾北中学校 伊藤校長

21ページをご覧ください。「1 学校教育目標」は開校以来変わっていません。その時々課題に応じて変更を加えてきています。今年度、この内容で進んできて、概ねこの方向で間違いはないと思っていますので、柱は変える予定はありません。22ページをご覧ください。「6 今年度の重点」に関わって、本校の課題は4つあると考えています。1つ目は、学力調査等で低迷しているという点です。授業が変わっていないという部分や、学習が十分行われていないということがありますので、改善するための方策を盛り込んでいます。2つ目は、生活が乱れている生徒が増えているように感じていますので、特にSNS関係については手を入れていかなければならないと思っています。3つ目は、生徒も教員も、部活動の負担がかなり大きいと思っています。解決できるのであれば改善したいと思っている部分がありますので、手を入れていきたいと思っています。4つ目は、特別支援教育についても、特別支援学級だけでなく、通常学級の中でも特別な支援が必要な生徒が増えていることから、どのように関わられるかということについても取り組んでいきたいと思っています。

○ 女鹿会長

各部会の説明が終わりましたが、ご質問やご意見はありませんか。

【意見、質問等はなし】

○ 女鹿会長

それでは、3協議事項の①各学校の令和4年度学校運営方針の承認について、皆さまご承認いただけますでしょうか。よろしければ拍手をお願いします。

【拍手多数】

○ 女鹿会長

ありがとうございます。ご承認いただきましたので、次に進めてまいります。

引き続き、3協議事項の②令和4年度矢巾町立学校運営協議会の取組みについて入ります。令和3年度の共通取組事項に関わる、各学校の具体的な取組み、課題や問題点も含めて、各学校からご説明いただきます。令和3年度の反省と、令和4年度の重点取組事項の説明をお願いします。

○ 徳田小学校 小川校長

今年度の共通取組事項のうち、「地域、学校、保護者をつなぐコーディネーターや特技をもったゲストティーチャーの活用」について、コロナ禍により外部講師を呼ぶものについては中止が続きました。今後は、本校のコミュニティスクール推進委員会の人脈を活用して、人材をご紹介いただいたり、推進委員会の皆さまにゲストティーチャーや指導者をお願いする等していきたいと思っております。また、「ゲームやSNS、携帯電話に関連した問題への取り組み」については、PTAの協力をいただきながら、親子で考えられるようにしたいと思っております。また、来年度は、学校の取組をご理解いただきながらサポートいただくために、まなびフェストを周知していきます。そして、再来年度は本校の創立150周年ですので、コミュニティスクール推進委員会のメンバーとともに、記念事業を検討していきたいと思っております。

○ 煙山小学校 阿部校長

今年度の共通取組事項のうち、「地域、学校、保護者をつなぐコーディネーターや特技をもったゲストティーチャーの活用」について、ほとんどできませんでした。矢巾北中学校区でデジタル安全マップを作るときに、防災士の資格を持つ方に来てもらう等計画していましたが、できなかったのが現状です。また、「ゲームやSNS、携帯電話に関連した問題への取り組み」については、外部講師を呼び、5、6年生を対象にオンラインの講習会を行いました。地域で、ということはできませんでした。令和4年度の取り組みについては、関係機関との連携を強化して児童の実態を把握し、その内容をもとに特別活動を考え、自己肯定感を育成していきたいと考えます。また、ゲーム障がい、SNS及び情報メディアについては、やはり家庭教育とのタイアップが必要なため、PTA講演会又は地区子ども会等で取り入れていただけるように取り組みを進めていきたいと考えています。

○ 不動小学校 吉岡校長

今年度の共通取組事項のうち、「地域、学校、保護者をつなぐコーディネーターや特技をもったゲストティーチャーの活用」について、地域の方を講師にお迎えするというのはできませんでしたが、地域の方々の協力を得て3回に渡り米作りの活動をすることができました。それ以外に、岩手大学学生の授業や、新聞の作り方についての講演会を開催してきましたので、コロナ禍でもなんとかできた部分はありましたが、全校での実施は課題だと思っております。ゲームやSNSについて、子どもたちには指導ができましたが、保護者を対象にしたものはできませんでした。令和4年度は保護者と一緒に、ゲーム障がいやSNS、情報メディアに関する取り組みをしたいと思っております。先日、PTAの役員の方から、Youtubeで配信したらどうかという意見をいただきましたので、情報メディアを活用した発信も必要かなと感じています。また、「安全環境の改善・対策を目指す地域との連携」については、道路だけでなく、水路についても確認し、地域の皆さまと連携しながら、子どもたちの安全を目指していきたいと思っております。

○ 矢巾東小学校 深野校長

令和3年度の共通取組事項のうち、「地域、学校、保護者をつなぐコーディネーターや特技をもったゲストティーチャーの活用」について、コーディネーターとしてお声がけしている方

が1人いますので、令和4年度は正式にお願いしたいと思っています。また、例年、食改善推進委員の皆さまやJAの方々にご協力いただき、稲作体験やかかし作り、郷土料理作り等を行っていますが、高齢化も進んでいますので、その継続については課題です。それから、盛岡工業高校の科学クラブは毎年来校くださり、クラブ活動で実験をしてくれています。これらは、継続していく予定です。また、SNSに関して、「情報メディアとの上手な付き合い方」ということで、盛岡教育事務所の先生をお呼びし、5、6年生児童及び保護者を対象に講演会を開催しました。併せて、情報通信機器に関するWebアンケートを実施しました。その結果を受けて、情報通信機器の使い方についてリーフレットを作成し、児童と保護者に周知しました。また、「安全環境の改善・対策を目指す地域との連携」について、矢巾町防災安全室と連携して、「横断歩道チェックストップ運動イン矢巾町」を実施する予定でしたが、児童会単独での取り組みとなりました。来年度も、今年度の取り組み事項に継続して取り組んでいきます。

#### ○ 矢巾中学校 福士校長

キーワードは、地域、家庭との連携、協働だろうと思っています。様々なアンケートをとりますと、この3年間で一番保護者アンケートの数値が低かったです。家庭の教育力の低下というのは顕著ですので、やはり、巻き込むということが大事だと思っています。ゲストティーチャーについても、ゲーム・SNS等の問題についても、地域、家庭との連携の中で進めるべきというのを感じています。私のいた3年間で、本校部会の委員の皆さまは何度も学校に足を運んでくださり感謝しています。特に職場体験や進路意識の高揚、稲作体験や矢巾町の歴史のお話をいただく等、色々な場面でご協力をいただき、感謝しております。

#### ○ 矢巾北中学校 伊藤校長

先ほどの学校運営方針の中で申し上げた4つの課題のうち、学力向上と特別支援の対応については校内でやっていけるとしています。残り2点の、生活の乱れ、特にも情報モラルに関する部分については、保護者の方に関わっていただかなければなりませんし、意識を高めるというところで、地域を巻き込んで活動ができればと思っています。さらに、部活動のあり方については、今コーチで関わってくださる方がおりますが、お任せする体制ができないかということを検討したいと思っています。

#### ○ 女鹿会長

各学校からの報告は以上です。本日はここからが本題となります。各校の令和4年度重点取組事項を踏まえて、共通取組事項を決めていきたいと思えます。まず、皆さまからご意見をいただく前に、私見をお話しさせていただきます。令和3年度は、コロナ禍により、なかなか活動ができなかったという意見が非常に多い印象を受けました。また、課題としている部分が、令和3年度とほぼ同じような内容というところもありますので、令和3年度の共通取組事項を引き続き取り組んでいく、さらに深掘りしていくというかたちが良いのかな、と。これにプラスアルファで何かありましたらご意見をいただければと思います。皆さま、ご意見はありませんでしょうか。

**【意見、質問等はなし】**

○ 女鹿会長

令和3年度に取り組んだ2点、「地域、学校、保護者をつなぐコーディネーターや特技をもったゲストティーチャーの活用」と「ゲームやSNS、携帯電話に関連した問題への取り組み」ですが、この2本柱は今後も継続していきたいと考えています。まず、SNSのお話をしますと、家庭教育や家庭学習は直結する問題ですし、ICTの活用というのも非常に絡んでくることです。また、各学校から、情報化やグローバル化という話もありましたので、ここは切っても切り離せないところだと思いますので、引き続き取り組みたいと思いました。それから、コーディネーターですが、広い意味で色々活用できるのではないかと思います。安全について考えると、防災士や矢巾交番等もありますので、そのようなところから協力を仰いでも良いのかな、と。この2点を柱として進めていくことは、次年度も引き続き進めていければと思います。あと、私は徳田小学校部会ですが、推進委員会のように地域の方々の協力を仰いで、コミュニティ会長や公民館長等、色々な方と意見交換すると、ゲストティーチャーをできる方が見えてくるということもありましたので、そのようなところに次年度はもう少し踏み込んでいくというのがよろしいのかなと思います。和田教育長も仰っていましたが、全ての町民で子どもたちを育てていくということで、今年はこの委員で取り組んできましたが、来年度はもうひとつ輪を広げて、もう少し広い視点と枠組みで取り組んでいただければ、これから先は少し違った視点で見えてくるのかなと思います。その中で、今年できなかったことを引き続き取り組んでいただくのがよろしいのかなと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

【意見、質問等はなし】

○ 女鹿会長

ありがとうございます。それでは、令和4年度の共通事項として決定させていただきます。以上をもちまして協議事項は全て終了いたしました。引き続き、子どもたちのためにご協力をいただければと思いますので、今後ともよろしくお願いします。ご協力ありがとうございました。

○ 田中館学校教育課長

それでは、4 その他に移ります。委員の皆さまで、この場でご発言したいことがありましたら、お願いいたします。

○ 藤村ゆみ子委員

放課後等デイサービスとくたんひがし所長の藤村と申します。障がい福祉に関わっていますが、皆さまから、「共に生きる」とか「SDGs」というお話が多く出て、とても心強い思いです。特別支援教育についても、深めていきたいというお話がありました。みちのく療育園と不動小学校の交流、盛岡となん支援学校と矢巾東小学校の交流、その他、色々なところで、障がいのあるお子さんたちと交流し、違いはあるけれど違いはないということ、生きる教育として行っている矢巾町の方針にとっても感謝しています。先日、煙山保育園に医療的ケアの必要な子どもが入所するということが新聞に載りました。保育園で受け入れるということは、その先に小学校、中学校があります。医療的ケアがあるから学校に通えないというお子さんも多くいら

っしやいます。普通の学校に通いたいという親御さんの思いを今から考えていかないと、学校での受け入れは難しいのではと思います。医療的ケア児等コーディネーターが、矢巾町に1人配置されました。相談支援専門員も増え、学校との連携も増えています。ぜひ、今から、ガイドラインやマニュアル、見学等、色々なことを学び、研究いただき、保育園に入ったお子さんが小学校に入る体制も考えていただきたいと思います。矢巾町には、岩手医科大学附属病院、岩手県立療育センターがあります。放課後等デイサービスでは、医療的ケアの必要な子どもを受け入れる事業所もあります。医療的ケアの必要なお子さん、障がいのあるお子さんが矢巾町に転入し、増えてきているのも事実だと思います。岩手医科大学附属病院の亀井先生も、親身になって関わってくださっています。教育委員会も福祉とつながり、医療的ケアのあるお子さんを受け入れる体制を考えていただきたいと思います。

#### ○ 田中館学校教育課長

ご意見ありがとうございます。医療的ケア児について、矢巾町の状況をお知らせしたいと思います。本町小学校では、看護師の配置はありませんが、医療的ケアの必要なお子さんの受け入れはあります。教育委員会事務局子ども課では、来年度から保育園で医療的ケア児を受け入れるということで、ガイドラインを作りました。保育園と同じように、義務教育でも受け入れ体制を整えるため、来年度はガイドラインを作成する予定です。県内でも、医療的ケア児に関する取り組みがようやく始まっています。本町では、教育委員会部局の学校教育課と子ども課、町長部局の福祉課と健康長寿課の4課で、町内の医療的ケアが必要なお子さんをどのように見守っていくかということ、かなりの頻度で打合せを重ねています。本町は比較的取り組みが早かったのではと思っていますが、まだまだ不十分で、手探りの部分があります。岩手医科大学附属病院やみちのく療育園からご意見を伺いながら取り組んでいるところです。今後、コミュニティスクールでも話題になる可能性がありますし、引き続き、取り組んでまいります。

#### ○ 藤村ゆみ子委員

ありがとうございます。非常に進んでいることに驚いたのと、安心しました。引き続きお願いしたいと思います。また、放課後等デイサービスがすごく増えています。各学校のお子さんたちの受け入れ、つながりもありますので、そちらの連携も進めていただければと思います。

#### ○ 田中館学校教育課長

放課後等デイサービスと学校の連携も行っていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

他に委員の皆さまからご意見ありますでしょうか。

#### ○ 矢巾北中学校 山根副校長

今年度、本校の学校運営協議会の話し合いからスタートして、矢巾北中学校、矢巾東小学校、煙山小学校、そしてPTAの方々で行った活動をご報告させていただきます。皆さまにお配りしたデジタル安全マップです。第1回目の学校運営協議会で、子どもを守るというテーマで協議をした時に、本校学区の喫緊の課題として、交通量の増加や交通安全という話題が出ました。岩手医科大学附属病院の移転や、矢巾スマートインターチェンジができたこともあり、交通量

が多くなりました。生徒たちを守るために何かできないかということ、また、今課題になっている ICT 活用を絡めることはできないかということ、そして、最終的には、生徒の主体的な活動として進められないかということで協議した結果、デジタル安全マップの作成に至りました。矢巾北中学校区の矢巾東小学校と煙山小学校、そして、本校の PTA に呼びかけたところ、皆さん賛成してくださったので、意見交換を重ねて進めてきました。各学校の児童生徒が選んだ危険箇所と、PTA が選んだ危険箇所の重なりが多い所の 17 か所に絞りました。また、QR コードから、児童生徒が選んだ 200 か所近くの危険箇所を見ることができますので、お時間がありましたらご覧いただきたいと思います。このマップは、生徒が地域の店舗等に配布して掲示いただきました。また、特に危険と思われる箇所を生徒会で話し合い、スマートインターチェンジ付近の交差点、ショッピングセンターアルコ裏の十字路について、矢巾町を通して公安委員会に横断歩道の設置を提案しています。生徒たちに社会参画の体験をしてほしいということで進めてきました。学校運営協議会からの助言や、教育委員会からの技術指導もいただきました。結果として、生徒たちの安全意識が高まり、ICT にも慣れ、教職員も生徒たちに教えるために研修会等を実施する等、成果が出たと思っています。これからも、皆で安全を守っていくことができればと思っています。

○ 田中館学校教育課長

ありがとうございます。これも学校運営協議会のひとつの成果なのかなと思っています。ぜひ参考にして、取り組んでいくことができればと思っています。これについて、委員の皆さまからご質問等ありますでしょうか。

【意見、質問等はなし】

○ 田中館学校教育課長

その他、委員の皆さまからご意見、ご質問等ありませんか。

【意見、質問等はなし】

○ 田中館学校教育課長

それでは、事務局からお伝えします。委員の皆さまは、令和 2 年 4 月から令和 4 年 3 月までの任期ということで、2 年間ありがとうございました。2 年前に第 1 回の会議を開催した際、矢巾町は 6 校で 1 つのコミュニティスクールを作りたいという教育長の強い思いがありました。1 校で 1 つのコミュニティスクール、あるいは、中学校区ごとのコミュニティスクールというのが本来のコミュニティスクールの姿です。矢巾町のように、町で 1 つのコミュニティスクールというのは法律に違反しないのかということ、岩手県教育委員会を通して文部科学省に問い合わせ、法律の解釈として問題ないことを確認しました。ただし、楽をするためではないこと、1 つの目標に向かってやるという思いがあるのであればよいということでした。2 年前の第 1 回目のときに、このお話があったのを覚えています。事務局としても手探りで始めましたが、矢巾町のスタイルは他にはないスタイルですので、至らない部分が多々ありますが、ブラッシュアップしていきたいと思っています。再任される方もいらっしゃるかと思いま

すが、来年度になりましたら、各学校から委員のご推薦をお願いしたいと思います。

以上をもちまして、予定していた内容は全て終了いたしました。皆さま、本日は大変ありがとうございました。

【午後 7 時 26 分 閉会】